

デジタルメディア情報と向き合う前に

セルフコントロール編



デジタル メディアリテラシー の夜明け

いったんとまれ
「批判的思考」のススメ



この教材の目指すところ

オンライン上では、
その場の感情や雰囲気の流れに流されて行動すると、
取り返しのつかない結果につながる可能性があります。
インターネットは公共空間であることを意識し、
人権に関する正しい知識を持ち、
行動する前に立ち止まり発信する責任を考えましょう。

漫画の事例で考える 大切な 2つのポイント




- ・ Aさんはなぜ同意のコメントを投稿したのでしょうか.
- ・ Bさんはなぜグループの友達に声をかけたのでしょうか.



漫画事例

<https://tottoridml.jp/example/17>



4つの思考の流れで 考えましょう

1・感情を確認しましょう。

Aさんは情報を受けとったとき、まず何を考えたと思いますか。

2・原因を考えましょう。

Aさんはなぜそのような行動をとったのでしょうか。

3・どうすればいいか考えましょう。

Aさんはどうすれば良かったと思いますか。取るべき行動の実行が難しいと思うことはありますか。

4・行動する準備を考えましょう。

この状況で取るべき行動を行うために、どのような知識や意識が必要か、考えをまとめましょう。

Aさんが陥った
「集団同調性バイアス」
の特徴は、
自分の判断に自信が持てない
ときや、少数派になることを
恐れる心理的背景から、
周囲と同じ行動をとることが
安全と考えてしまうことです。

Bさんのように、傍観するのではなく
行動する人のことをアップスタンダーといいます。
アップスタンダーになることは容易ではない
ですが、今の状況を変えることができます。



オンライン上で行動する際は、
自分の行動，発信が
誰かを傷つけることはないか，
公共への発信にふさわしいか，
立ち止まって考えましょう。

人権に関する正しい知識を
持つために，人権について学び，
困ったときは相談できるよう
人権問題に関する各種相談機関
も確認しておきましょう。

解説動画



<https://vimeo.com/921663792/079ef3c7c8>

教材監修・動画出演 / 今度珠美



このスライドは改変せずご使用ください。
このスライドと解説動画は教育，人権研修等で
非商用目的であれば，自由にご利用いただけます。
公序良俗に反する目的での利用，
商用として再配布，販売等の利用はできません。



鳥取県地域社会振興部人権尊重社会推進局
人権・同和対策課

TEL : 0857-26-7590

FAX : 0857-26-8138

E-mail : jinken@pref.tottori.lg.jp

鳥取県 政策戦略本部デジタル局
兼総務部行政体制整備局 デジタル改革課

TEL : 0857-26-8319

FAX : 0857-26-8289

E-mail : jouhou@pref.tottori.lg.jp

